

竜舌蘭



学校だより
9月号
喜界町立早町小学校
令和8年9月24日発行

「行事を通して、心も体も大きくたくましく」

校長 奥蘭 隆一

朝夕の過ごしやすさに、ほんのりと秋の気配が感じられる季節となりました。40日余りの長い夏休みが明け、子供たちの元気な笑顔と歓声が学校に戻ってきたことを、教職員一同、心から嬉しく思っております。夏休み中、大きな事故なく安全に過ごせましたのは、保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守りと御協力のおかげです。深く感謝申し上げます。

さて、いよいよ始まった2学期ですが、子供たちが学校生活にスムーズに慣れ、これから控える多くの行事でもてる力を十分に発揮するためには、土台となる心と体の準備が欠かせません。

■ 生活リズムを整え、心のスイッチを切り替える

2学期のスタートにあたり、何よりも大切なのは「生活リズムの立て直し」です。長い休みの後で、心や体に疲れが出やすい時期でもあります。「早寝・早起き・朝ごはん」の基本を今一度見直し、学校生活の心地よいリズムを取り戻せるよう、御家庭でも温かい声かけをお願いいたします。学校でも子供たちが安心して一步を踏み出せるよう、一人一人の変化に丁寧に向き合ってまいります。

■ 多くの行事と、子供たちのきらめく「成長」

2学期は、1年の中で最も長く、そして最も多くの行事がある学期です。運動会、ロードレース大会、修学旅行など、子供たちが主役となる舞台がたくさん待っています。

これらの行事は、単なるイベントではありません。子供たちが大きく「成長」するための絶好のチャンスです。

- ・目標に向かって粘り強く努力する力
- ・仲間と意見を出し合い、力を合わせて一つのものを作り上げる協調性
- ・うまくいかないことがあっても、諦めずに乗り越えるたくましさ

日々の練習や準備のプロセスには、小さな壁や葛藤もあるでしょう。しかし、それを乗り越えて本番をやり遂げたとき、子供たちは一回りも二回りも成長し、大きな自信を手に入れます。

■ 成長のプロセスを、共に見守り、応援する

学校では、結果の良し悪しだけでなく、「それまでにどれだけ頑張ったか」「どんな工夫をしたか」という『プロセス（過程）』を大切に認め、励ましていきたいと考えています。御家庭におかれましても、子供たちが家で練習等の話をしたときには、ぜひ耳を傾け、「よく頑張っているね」と背中を押してあげてください。皆様の温かい一言が、子供たちにとって最大のエネルギーになります。

行事が多い2学期だからこそ、子供たち一人一人が主役となり、きらきらと輝く場面をたくさん創り出してまいります。今学期も、本校の教育活動への御理解と御協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

